

スクリービット式  
**建築 土木** 防水シート用SBセパ止水工法

**注意事項**

1. 施工前
  - 工事開始前に大型止水リングと調整パイプの取り付けをどの業者が行うか打合せをしてください。
  - シートの材質によっては大型止水リングが接着しない場合がありますのでご注意ください。
2. セパアンカー施工時
  - 防水シート施工前に必ずスクリービットの施工を手配するようにしてください。
3. 防水シート施工時
  - ネジ部を貫通させる際ネジ部先端を強く叩かないでください。ネジ山が破損し調整パイプを取付できなくなります。
  - 吹き付けの防水シートを施工する場合はネジ部の先端をホース等で養生してから吹き付けるようにしてください。
4. 調整パイプ 大型止水リング取付時
  - 大型止水リングを保管の際は直射日光や雨をさけて保管するようにしてください。
  - 加圧調整パイプ(ツバ付きタイプ)をご使用の際、防水シートが薄いタイプだとツバが大型止水リングを押し付けることが出来ない場合があります。その場合は別途ワッシャーをかませる処理が必要になります。
  - 加圧調整パイプ(ツバ付きタイプ)をご使用の際、吹き付け防水でネジ部の周囲が盛り上がっている箇所についてはツバが大型止水リングを軽く押し付ける程度でねじ込みを止めてください。無理に奥までねじ込もうとすると、ネジ部が破断するおそれがあります。
  - 調整パイプの先端を叩かないでください。ネジ山が破損しセパレータがねじ込めなくなります。
5. その他
  - 漏水を防止する為に当製品はセットでご使用ください。部品単体での販売はおこなっておりません。
  - スクリービットを施工の際は、弊社指定の器具を使用してください。指定器具以外の施工での不具合に関しては、対応しかねます。
  - 仕様以外の部品を使用しての施工は防水機能低下やネジ部破損の原因となります。

**製品入数**

パイプタイプ サイズ	調整パイプ	加圧調整パイプ	保証強度 (製品破断強度)
W 5/16	250		2100kgf (3000kgf ※)
W 3/8	200	100	2100kgf (3200kgf)
W 1/2	100	50	2800kgf (4100kgf)

※ 調整パイプが先に3000kgfで破断します



施工状況



国土交通省新技術情報システム (NETIS) 登録済み  
 特許取得済み  
 意匠取得済み

開発・製造元

**株式会社 北斗金属工業**

〒114-0013 東京都北区東田端2丁目7番6号  
 TEL 03-3800-1511(代)・FAX 03-3800-0684  
 URL <http://www.hokut.com>  
 E-mail [mail@hokut.com](mailto:mail@hokut.com)

代理店

**株式会社 北斗金属工業**



## 戸建住宅地下から大深度地下構造物まで

地下の構造物を建造する際に躯体からの漏水を防ぐ為に、山留壁全面に防水シートを貼り付ける工法が行われています。しかし、この工法の唯一の弱点は型枠保持セパレータを取る際に発生する防水シートの切り欠き・貫通部からの漏水でした。従来からセパレータを取るためにアングルを溶接する等してありますが、この場合防水シートに大きな切れ込みを入れなければならなくなり、この箇所の防水処理に手間がかかっていました。また、溶接の際に発生する火花が防水シートに悪影響を与えたり、火災の心配が懸念される等の様々なデメリットがありました。「スクリュービット式防水シート用セパ止水工法」は、アングル溶接の手間がいらず火気を一切使用しない安心・安全施工のスクリュービットを使用して、強力な引張強度により型枠を確実に保持し、スクリュービットによって発生した防水シートの貫通部を大型止水リングで完全に塞ぎ、高い防水性能を発揮する工法です。工期やコストの削減に貢献します。



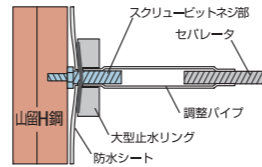
当工法採用躯体完成状況

## 特長

### 1.高性能の型枠保持能力・防水性



ねじ込み式のスクリュービットは強度のバラつきが無く、型枠を確実に保持します。スクリュービットによって発生した防水シートの貫通部を大型止水リングの強力な接着力で完全に塞ぎ、水の侵入を防ぎます。



### 2.アングル溶接が不要

山留のH鋼等にセパレータ保持金具『スクリュービット』で直接セパレータをとるので、アングルを溶接することは不要です。そのため、工期やコストの大幅削減になります。(H鋼間のピッチが離れている場合はアングルを併用することがあります)



### 3.火気・有毒物質不使用

スクリュービット取付や防水シート施工後の調整パイプ・大型止水リング取付には火気や有毒物質を一切使用しないので、安心・安全施工です。



### 4.大掛かりな工法は不要で 工期・コスト削減

防水シートに穴を空けないようにセパレータ取り用のH鋼を別に打設したり、ボックスカルバート工法を採る等の大掛かりな工事が不要になります。

## 製品構成



### ■建築用タイプ

【防水用スクリュービット】(左)  
【防水用矢板金具】(右)  
【調整パイプ W5/16】

対応セパレータサイズ(W5/16)



### ■土木用タイプ

【防水用スクリュービット】  
【調整パイプ W3/8】(上)  
【防水用スクリュービット W1/2】  
【調整パイプ W1/2】(下)

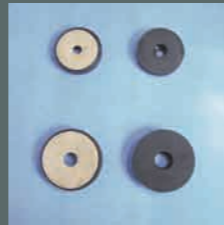
対応セパレータサイズ(W3/8・W1/2)



### ■大深度地下構造物対応タイプ

【大深度防水用スクリュービット】  
【加圧調整パイプ W3/8】(上)  
【大深度防水用スクリュービット W1/2】  
【加圧調整パイプ W1/2】(下)

対応セパレータサイズ(W3/8・W1/2)



### ■大型止水リング

【W5/16・W3/8用】(上)  
【W1/2用】(下)

非加硫ブチルゴムが防水シートの貫通孔を塞ぐとともに、アンカーのネジ部に巻付き密着します。

※スクリュービット製品保証強度 ①W5/16・W3/8 2100kgf ②W1/2 2800kgf

### ■ 建築用・土木用タイプ (対応サイズ：W5/16 W3/8)

戸建住宅やビルの地下等の全面防水シート工事におけるセパレータの貫通孔からの漏水を、非加硫ブチルゴムと専用調整パイプによって高いレベルで防止します。性能とコストの両立を実現しました。

戸建住宅やビルの地下等の現場にコストパフォーマンスに優れたタイプです。



### ■ 大深度地下構造物対応タイプ (対応サイズ：W3/8 W1/2)

地下鉄や地下トンネル等の土木工事のように大深度の地下構造物ではより強い水圧がかかります。そのような場合にはこの加圧調整パイプタイプで対応します。加圧調整パイプを用いることにより、高水圧に対してより優れた防水性能を発揮します。

地下30m以上の大深度の水圧に対応の加圧調整パイプ(ツバ付)タイプです。



### 水圧試験結果



(W3/8 大深度タイプ)

使用防水シート：①ウレタン系吹付け防水 ②アスファルト系塗膜防水

水圧	加圧時間	漏水の有無
1.0Mpa(約10気圧)	24 h	無し

(試験実施機関：財団法人化学物質評価研究機構)

## 施工の流れ

### STEP1



防水シート施工前に山留面へスクリュービットネジ部を取り付けます。(別途カタログ参照)

- 資格や大掛かりな機械等が不要なので、100V電源で直ぐに施工できます。
- 取り付け直後から防水シートの貼り付けが行えるので、工期が短縮できます。
- 火気を一切使用しないので周囲の防水シートに悪影響を与えたり、火災の心配がありません。
- スクリュービットはH鋼が濡れていても施工が行えます。(強度に影響はありません)

### STEP2



防水シートを貼り付けます。この際プラスチックハンマー等でスクリュービットのネジ先端部を軽く叩き、防水シートを貫通させます。

- ネジ部を貫通させるだけなので防水シートの切れ込みが必要最小限に抑えられます。
- 取り付けはネジ部のみで短い為、防水シートの貼り付けの際にシートが歪んだり皺が大きくなりません。

### STEP3



防水シート施工後に大型止水リングをネジ部に通し、インパクトレンチで調整パイプを取り付けて施工完了です。

- 大型止水リング・調整パイプの取り付けは簡単なので、どなたでも取り付けが可能です。